

# 2009年版 新潟 あのまち、このまち 安心のかかりつけ医

新潟市中央区

●脳神経外科・神経内科

## おのクリニック

「頭痛」「めまい」「脳卒中」、  
不安を感じたら、いやしの森へ。



院長 小野晃嗣氏

新潟大学医学部中、山形県立中央病院脳神経外科、水原病院脳神経外科、諏訪湖中央病院脳神経外科、長岡中央病院脳神経外科、新潟大学脳研究科脳神経外科、米道 Holar 研究所、桑名病院脳神経外科、新潟中央病院脳神経外科の科長、副院長を経て 17 年同院を院長

JR新潟駅南口から車で5分。新潟バイパス紫竹山ICより車で3分。ビルがひしめく笹出線沿いに、憩いをもたらす大櫛の木立に守られるように、脳外科・神経内科「おのクリニック」がある。明るい待合室は斬新なアートフラワー、巨大なゴムの木が置かれ、ふと心が休まった。まさに同院がめざす、いやしの森、そのものである。

脳病の病気が、脳梗塞・脳出血など命にかかわる病気を想像するが、同院では重症になる前のごく初期的な症状の診断・治療と、脳手術の後のフォロー、認知症の治療などを行っている。「患者さんの多くは頭痛、めまい、しびれを訴え、それが脳の病気から来る症状なのではと不安に思っ

て来られます。来院して、頭痛やめまいに悩んでいる人が予想以上に多いことに驚いていました。病院に行くほどではないけど、不安に思う人が気軽に受診できる、脳の病気の入口になりたいと院長は語る。

CTなど最新の検査機器を揃えているが、院長の診療は「問診と診察が基本」とくに脳疾患の場合、自覚症状は異常を知らせる重要な手がかり。患者さんの訴えをじっくり聞き、その言葉を全面的に信じ、体を診察すれば、たいがい診断がつけられます。検査はその診断を裏付けるものです。院長は3年前まで、新潟中央病院など数多くの病院で腕を振るってきた脳神経外科のエキスパート。それだけに重症疾患の怖さを嫌というほど知っている。だから自分を頼ってくる患者さんの将来のために、診断は小さな病変を見逃さないよう真剣勝負だ。しかも一刻も早く診断を下す努力を惜しまない。つい最近も、

頭に強烈な痛みを感じ、不安に思い来院した50代の初診患者さんがいた。診察の後にMRIで検査し、待っている間に診断し、異常がないことがわかった。「その結果を伝えた時の、患者さんの喜びのように、この笑顔のために一生懸命やっていると思いました。また長い期間、片頭痛で苦しんでいた患者さんに薬を処方したところ、2回目の診察時に、痛みがとれた」と大喜びされた。「薬がその患者さんの体質にうまく合ったんですが、その方にとっては福音ですね」。そして待合室で具合が悪くなった患者さんがいて、すぐに連携する病院に搬送したところ、脳梗塞の初期症状と診断され早い救命処置で一命をとりとめた。こうして年を重ねるたびに、院長にとって忘れられない患者さんが増えている。

私たちの身近には、高度医療の現場で活躍してきた名医がいる。そんな名医を家庭医にすることも、治療のひとつだ。



大きな櫛の木立に囲まれて、美術館のようなクリニック。

### Data

#### おのクリニック

〒950-0911  
新潟市中央区笹口3-21  
TEL (025) 290-3131  
<http://onoclinic.net>



- 院長 / 小野晃嗣
- 診療科目 / 脳神経外科・神経内科
- 診療時間 /  
月・火・木・金 9:00 ~ 12:30  
14:45 ~ 18:30  
水・土 9:00 ~ 12:30  
(\*診療時間の15分前より受付)
- 休診日 / 水曜午後、土曜午後、日曜、祝祭日